

令和4年度 第3回 学校評議員会

日 時：令和5年2月20日（月） 13時00分～14時40分

場 所：本校多目的教室

出席者：学校評議員5名 学校職員12名

1. 開会

2. 学校長挨拶

- ・コロナ対策緩和方向につき、諸行事を前向きに実施検討。
- ・クラブ活動、科学の甲子園など成果。
- ・高校改革。再編に対応しさらなる発展を目指したい。
- ・SSH20年目で、先導的取り組みが求められるが、文部省からの評価は厳しい。探究学習の高度化、高大接続、国際性の醸成など、さらなる取り組みが求められる。

3. 附属中より 副校長挨拶

- ・協働的で、アウトプットを重視する学び。
- ・ICT中心の授業改善と、自主学習の成果
 - ①オンライン授業を、生徒と共に現地から行う取り組み。
 - ②科学班を中心に、地域の子どもたちと学習する機会を設ける。
 - ③一日税務署長の活動や、コンクール等での実績。
 - ④語学研修などの海外研修。
 - ⑤諸大会成績。
- ・班活動の地域委託について、ニーズに応えるあり方を検討中。
- ・他校との交流など、同年代と関わる機会も保証していきたい。

4. 学校からの説明

(1)キャリア教育について

- ・共通テスト受験者数・平均点、個別試験、私大入試について。
- ・国公立大出願状況、私大出願状況。

(2)生徒指導について

- ・SNS発信について注意喚起。
- ・来年度以降、ヘルメット着用を強く推し進めていく。

(3)生徒相談について

- ・不登校生徒への対応として、担任との連携を強めてきた。
- ・来年度以降は、研修などを通じて予防策に重点を置く。

(4)生徒会について

- ・稲荷山養護学校とのタブレット端末を使った交流実施。コロナ禍でも可能性探る。

(5)SSH について

- ・ 厳しい評価をいただく一方、方針が明確になった。
- ・ 評議員よりいただきたい意見 3 点。
 - ①課題探究活動の高度化と、そのシステム化についての意見。
 - ②課題探究ノウハウを、県内外に普及させるための意見。
 - ③海外研修実施のための、連携先についての意見。

(6)学校評価について

- ・ アンケート結果はおおむね高評価。
- ・ (中学) OB、OG の話を聞く機会を設けるなど、進路実現に向け職業観の育成を目指す。
- ・ (中学) 人権学習も、年間計画を練り、見直しを持ちながら運営する。

5. 質疑及びご意見

【質疑】

Q. SNS における情報発信は、生徒は日常的に行っているのか。

A. 学校では Google アカウントを発行し、個人スマホで利用する私的アカウントを持っている場合がある。生徒の端末を、別の生徒が勝手に操作する事例があり、管理指導を徹底する。

Q. 高校として、総合型選抜などに対する考えは。

A. 課題探究においては生徒の自主性を重視する一方で、探究活動を生かす指導も検討している。

【ご意見】

- ・ 文章起案能力を洗練させるために、「他人にどう見られるか」という観点から、SNS 使用への働きかけをしてはどうか。
- ・ 中3受検生はいじめのない落ち着いた高校を求める傾向があり、その選択肢として屋代高校が選ばれている。
- ・ 学習塾、多言語教育に関わっており、海外出身職員との接続が可能。
- ・ 外務省関連の人材に、校長と教育長からコンタクトを取り、国際的な連携について公式に依頼してはどうか。
- ・ SSH 世代で、大学の研究職に在職する人材とコンタクトを取り、大学とつながることができる拠点作りを進めてはどうか。また、女子理系教育の視点も重要である。
- ・ 大学側として、組織対組織の連携を求めたい。OB・OGを介した連携も前向きに考えたい。国際的な人材もコロナ対策緩和で増えている。
- ・ ヘルメット着用推進はぜひ行ってほしい。OB・OGを騙った宗教勧誘に注意。

6. 学校長より

- ・ 他県の教員研修実施に係る取り組みを参考に、管理機関と相談していきたい。
- ・ 生徒と入試に向けた面接練習をする機会を通じ、志望動機など将来への明確なビジョンを持つ生徒が増えていると感じている。
- ・ 本校生徒が、学校生活で伸ばしていたものが進路実現につながるように探っていきたい。

7. 諸連絡

8. 閉会